

第1回 福島市役所新しい西棟建設市民懇談会 会議録

- 1 日 時 平成31年2月26日（火曜日） 15:09～16:48
- 2 場 所 福島市役所4階庁議室兼防災対策室
- 3 出席者 山口哲子会長、牧田実副会長、佐藤玲子委員、（欠）池澤龍三委員、菅野廣男委員、引地洲夫委員、河野由美子委員、阿部一善委員、藤田修一委員、安西由博委員、佐藤祀男委員、湯上要委員、原田紀之委員、木暮照正委員、霞朝子委員、阿部勢津子委員、菅野真委員
- 4 内 容
 - (1) 開会
 - (2) 会長・副会長選出
 - (3) 議事
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 5 概 要 議事内容について事務局説明後、質疑応答、意見交換
- 6 委員の主な発言

○委員 説明資料（以下頁数は同じ資料）7頁に当初の西棟図の記載があるが、半分は議会棟である。18頁の西棟の事業費の70億円の中には、議会棟の部分は入っているのか。西棟を考えるとときには、だいたいどのくらいの事業費を予定しているか。

○事務局 7頁は東西棟が実施設計まで済んでいることから、現状を知ってもらうために記載している。18頁については、複合化する市民会館、敬老センター、中央学習センターだけで70億円ではなく、今まで計画されていた機能も踏まえ、統合・複合化されて全体で70億円としているが、あくまで仮事業費である。

○委員 議会が3フロアあり、2階が本庁機能であれば、全部で6階あるフロア部分の4階部分は、議会・本庁機能となるが、1階が交流機能であり、全体の六分の一となる。70億円は、これまでの西棟プラス各施設ということによろしいか。

○事務局 7頁レイアウト図は、現在の計画をお示ししただけである。今後は、計画の内容を検討し、新しい西棟を目指すものとしており、このフロア図にとらわれずお考え頂きたい。事業費の考え方は、お見込みのとおりである。

○委員 21頁懇談会の役割について、本懇談会には町内会の方々が来られているが、その下の庁舎周辺のまちづくり懇談会にも周辺町会等が入っている。違いはどう考えればよいか。

- 事務局 新庁舎建設時、新庁舎建設市民懇談会、新庁舎建設における市民利用施設等懇談会、庁舎周辺のまちづくり懇談会、新庁舎建設ユニバーサルデザイン推進検討委員会とで4つの会があった。今回、新庁舎建設市民懇談会と、新庁舎建設における市民利用施設等懇談会を統廃合して、福島市役所新しい西棟建設市民懇談会として採用した。新庁舎建設ユニバーサルデザイン推進検討委員会はまだ立ち上がってはいないが、新しい西棟を進めるにあたり、適切な時期に立ち上げていきたいと考えている。現在あるのは、福島市役所新しい西棟建設市民懇談会と、庁舎周辺のまちづくり懇談会である。役割については、記載があるが、庁舎を建てる周りの周辺町内会や、商店街の方たちに情報提供や、地元ならではの意見を頂きたいと考えている。
- 委員 周辺町会で重複していらしている方も、会が別々なのか、分けた理由が不明である。
- 事務局 庁舎周辺のまちづくり懇談会の構成は、松木町親和会、浜田町会、五老内町会、花園町会、また、周辺の商店会組織、庁舎周辺のまちづくりの別組織があり、4つの町内会、2つの団体で構成されている組織である。
- 委員 市役所周辺の町内会はこちらで、周りの町内会は2段目の懇談会か。
- 事務局 庁舎の周りの4つの町内会と、商店会、まちづくりの団体で庁舎周辺のまちづくり懇談会は構成されているが、そちらを代表して、松木町親和会会長に来て頂いている構図である。
- 議長 庁舎周辺のまちづくり懇談会があるが、そこからお一人、本懇談会に入っている、ということか。
- 事務局 そのとおりである。
- 委員 二つの検討委員会からの提言があり、今回、このような懇談会の設置はよかったと思っている。まもなく、あの震災から8年を迎えるところである。振り返ると、摺上川ダム、飲料水であるが、できていたから水は問題なく済んだ。庁舎も、できていたから、災害に対応できた。西棟も、災害を含めた市民の避難、備蓄をする計画があったが、たまたま、3.11の災害が発生した中で、先送りされて今日まで来た。しかし、日本列島各地で、先日も北海道で地震があった。いつまた災害が発生するかわからない。そのような中で、今回、木幡浩市長さんは、先送りしないで、もちろん二つの委員会から提言があったが、西棟の災害の部分や、今の人口減少も含め、ここに統合的な西棟を建設することとなった。そのことを踏まえ、我々がしっかり考えた中で、ここにあるべき姿をご助言、論議してもらいたいと考えている。その中で、18頁の財政構造、仮事業費として70億円がある

が、なおかつ、一般財源 3 億円となっているが、東棟を作る際にも、昭和の時代から積立を行い、この東棟は多分、起債も受けず、積立した基金で建設されたと思っているが、それも 130 億円くらいで終わったのか？ 併せて、理解しにくいですが、吉田市長の時に計画された 5 階建ての建物以外に、中央学習センター機能、市民会館、敬老センター機能を含めると 70 億円必要だという理解でよろしいか。結果的に、議会の部分、備蓄の関係、市民の避難のための施設はそのままであろうと私は思う。改めて結合される財源が 70 億円かかるものと考えたが、その点が分かりにくいため、今までの 5 階建ての建物にはこのくらいかかる計画だった、よって、これから何億かかるのか、と言うことをお聴きするのが分かりやすいと考えた。その点を伺う。

○事務局 まず、基金の残高は、18 頁の資料中、基金繰入に記載のあるとおり 43 億円が残高としてある。そもそも新庁舎、東西棟として建設に要する費用は 179 億円であった。東棟は、建物ほか、用地取得も含めて 140 億円ほどかかっている。8 年前の当時は、基金で西棟建設も可能と考えていたが、ただ、その後、人件費・部材が非常に高騰しており、それに加え、今回、新たに統合する 3 施設をそれぞれ一つ一つ建てるよりは安くなるのではないかと考えるが、70 億円の中には、西棟とその 3 施設を含めた金額で考えている。ただ、これはあくまでも仮事業費で、積上げた金額ではないので、そのように捉えてもらいたい。

○委員 18 頁の 70 億円は、前提は 5 階建てなのか。全く白紙ということでよろしいか。

○事務局 これからの検討となるが、5 階建てにとらわれないということでもよろしいかと考えている。

○委員 70 億円がかなりぶれるという前提でよいか。

○事務局 70 億円の算出には、他の公共施設の平米単価を利用しているが、今後は皆様のご検討を頂いた中で、進めるべきものと考えている。

○委員 希望であるが、次回までに 70 億円で何階建ての建物ができるか、目安を教えてください。

○委員 今回、中央学習センター、市民会館の機能を加えるということは、本来市庁舎としては滞在時間が短いはずだが、交流的な機能が加わると、駐車時間、そこに居続ける時間が長くなると思うので、当初の駐車スペースでは足りないなどの計算が成り立ち、建物自体のボリュームも変わってくる。駐車場の考え方、バスの利用も一方では必要かと考えるが、その点を加えた具体的なデータも、わかれば次回は頂きたいと考えている。

- 委員 何階建てになるかまだ分からないかと思うが、議会機能・執務室、マストとして必要なのは何フロアなのか、次回までに教えて頂きたい。
- 委員 33 頁のアンケートの実施、1,500 人の無作為抽出でやっているようだが、市民会館・敬老センター・中央学習センターは、だいたい利用している町会はかなり限られている。広くアンケートを行っても何もならないのではないか。我々町会では敬老センター・学習センターは年 10 回以上、市民会館も使用しているので、そのようなところの意見もある程度重視しないと、ただアンケート調査を行ったのみ、という結果が出てこないか懸念されるが、そのような配慮はされているか。
- 事務局 市内無作為抽出で、全市的に 1,500 名のアンケートを行ったところである。これは、西棟に市民交流機能ができれば、当然、中央地区、周辺地区の方々が利用の中心となるものと考えているが、市民交流施設ということで、全市的に利用されるものと考えているので、全市的に利用の意向、施設のあり方をお伺いするものである。
- 委員 あり方といっても、全然利用しない人に聞いても大した答えは返ってこないのではないか。次回出される結果に基づいて考えればよいかと思うが、そのように私は考える。
- 事務局 施設を利用している方、利用していない方、それぞれにアンケートはお送りしたことになるが、利用していない方であれば、何で利用していないのかということも含め、これから複合化することで今後利用することも考えられるので、そのような意味合いで、全市的にアンケートを実施している。今後の課題ではあるが、施設のあり方だけではなく、使用料のあり方についてもそれぞれ 3 施設で取り扱いも異なることもあり、全市的にどうあるべきか、ご意向を伺っているところである。
- 委員 新たな市民交流機能、複合化について、素晴らしいと考える。市長は、コンパクトな施設を作りたい、ということであり、スピード感をもって、ということは以前からも聞いているが、私が現職の時に行った建設工事の際に、あちこち視察研修を行った。その時の施設は、今でも、他から視察に来るものである。言わんとするところは、コンパクト化、大賛成であるが、他の先進地を視察研修してもらって、よりよい良いものを皆さんの意見を集約しながら、建築してもらいたい。敬老センターは我々老人クラブで利用させて頂いている。庭があり、素晴らしい建物なので、そのようなことを考え、建築してもらいたい。
- 委員 この計画が進んで、建物ができるまで、8 年はかかる。その間に市民が減っていく中で、なるべくコンパクトに作るべきだろうと考える。18 頁の仮事業費が 70 億円とあるが、基金の繰越が 43 億円あり、そこからのプラスアルファをどのよう

に少なくしていくか、皆さんのお知恵を頂き減らしていきたいということかと思う。そこで、事務局に2点要望があるが、32頁の中で、議会機能、議事堂・委員会室は、多分、年間何十日くらいしか使われていないと思う。そこを、いかに市民に対して貸し出すスペースとできるか。先ほどから建物の階数のお話が出ているが、延床面積が問題で、私は建築士でもあるが、小さくするためにどうするか、まず考えなければならないので、市議会の議事堂の稼働率、委員会室の稼働率を知りたい。また、先進地視察の実施予定とあり、どこがよいかアンケートをとるかと思うが、指定管理の部分も入ってくるかと思う。直営ではなく、この部分はNPOに任せるとか、ソフトの面で使いやすくする方法があるかと思う。建物の写真と平面図だけではなく、どのように管理運営も行っているか教えて頂ければ、と考えている。

- 委員 議会機能に関しては、慎重に考える必要があるかと思う。我々市民は、議員を育てなければならない。それぞれの議員が市民の認可を得て市政に携わるので、議会機能が、その利用とか回数で考えるというのは、やはり根本的に、議会そのものがどのようなものか意識しなければならないと思うし、議会機能に関しては、利用率等で判断すべきではない、と私は考えている。